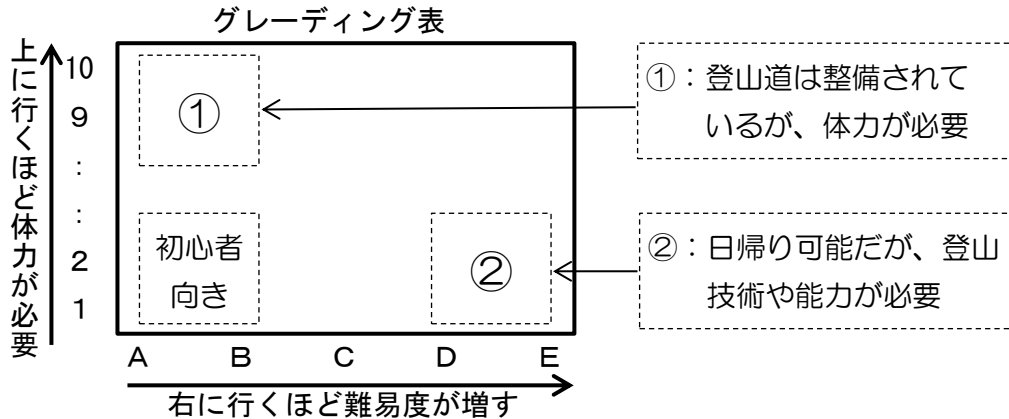


「新潟 山のグレーディング」使用ガイド

1 表の見方

登山者自身の力量に合った登山ルート選びの参考とするため、登山ルート別に、必要な体力と技術・能力をそれぞれ評価し、縦軸が体力度、横軸が技術的難易度の表にまとめています。

注：あくまで「無雪期・天気良好時」の条件下のものです。



【説明】

- ① 登山道が整備されていて比較的安全でも、歩行距離が長かったり、上り・下りの標高差が大きかったりなど、体力を消耗するコースの場合は、体力のない登山者には適しません。
- ② 歩行時間が短く日帰りが可能なコースであっても、途中で転落・滑落や道迷いの危険箇所があるコースの場合は、登山初心者には適しません。

2 グレーディングの基準

(1) 体力度の判定基準

【算出手順】

- ① コースタイム(歩行時間)、ルート全長、累積登り標高差、下り標高差の4つの数値から、次の式により「ルート定数」を算出します。

$$\text{ルート定数} = \text{コースタイム(時間)} \times 1.8 + \text{ルート全長(km)} \times 0.3 + \text{累積登り標高差(km)} \times 10.0 + \text{累積下り標高差(km)} \times 0.6$$

※ ルート定数の算定は、鹿屋体育大学 山本正嘉教授の研究成果を基にしています。

- ② ①で算出されたルート定数を、わかりやすくするため、以下のとおり、体力度として10段階に分類しています。

体力度	ルート定数
1	10 以下
2	10 を超え 20 以下
...	...
9	80 を超え 90 以下
10	90 を超える

(2) 技術的難易度の判定基準

登山ルートの特徴上の地形上の特徴や必要技術・能力から技術的難易度を定義し、A～Eの5段階で評価しています。

難易度	登 山 道	登山者に求められる技術・能力
A ★	<ul style="list-style-type: none"> ●概ね整備済 ●転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い ●道迷いの心配は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●登山の装備が必要
B ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> ●沢、崖、場所により雪渓などを通過 ●急な登下降がある ●道が分かりにくい所がある ●転んだ場合の転落・滑落事故につながる場所がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●登山経験が必要 ●地図読み能力があることが望ましい
C ★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> ●ハシゴ・くさり場、また、場所により雪渓や渡渉箇所がある ●ミスをすると転落・滑落などの事故となる場所がある ●案内標識が不十分な箇所も含まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ●地図読み能力、ハシゴ・くさり場などを通過できる身体能力が必要
D ★ ★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> ●厳しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・くさり場、藪漕ぎを必要とする箇所、場所により雪渓や渡渉箇所がある ●手を使う急な登下降がある ●ハシゴ・くさり場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ●ルートファインディングの技術が必要
E ★ ★ ★ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> ●緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続き、転落・滑落の危険箇所が連続する ●深い藪漕ぎを必要とする箇所が連続する場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ●ルートファインディングの技術、高度な判断力が必要 ●登山者によってはロープを使わないと危険な場所もある

(用語説明)

○地図読み能力：

地図を見て自分の位置を知ることができ、目的地へのルートを識別できる能力

○ルートファインディング：

登山道がついていないところ、または分かりづらいところで、一番安全に通過できるコースを見つけること

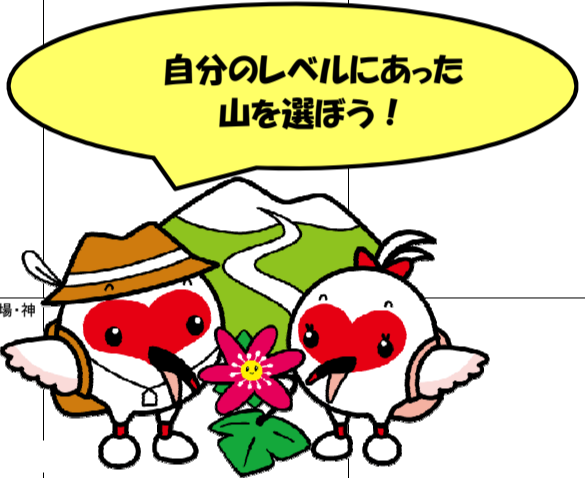
○藪漕ぎ：

笹や低木などが密生する藪を手でかき分けながら進むこと

「新潟100名山」(新潟県山岳協会監修)に掲載のルートを中心に、体力度と技術的難易度で評価しました。(※掲載ルートは適宜見直す予定です。)
「自分の力量にあった山選び」により登山を安全にお楽しみ下さい。

作成:新潟県県民生活・環境部県民スポーツ課 監修:新潟県山岳遭難防止対策協議会

Main table with columns: 目安 (10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1), 体力度 (1泊以上が適当, 2泊以上が適当, 3泊以上が適当), 技術的難易度 (A, B, C, D, E), and 登山道の状況. Includes callouts for route difficulty and safety.



【凡例】
数字 裏面「新潟 山のグレーディング一覧表」の番(五十音順)
【縦】 入山口と下山口が異なる縦走ルート
【周】 入山口と下山口は同じだが途中の経路が異なる周回ルート
() 登山口 ※縦走の場合は登山口・下山口
< > 山名と登山口だけでは経路が特定できない場合の経由地

Table detailing '登山道の状況' (Trail conditions) and '登山者に求められる技術・能力' (Skills and abilities required for hikers) across difficulty levels A to E.

<使用上の注意>
以下の点に注意し、登山者自身の自己管理責任において入山されるようお願いします。
1 この表は、無雪期・天気良好の条件のもと、ルート固有の地形的な特徴について体力度と難易度を評価したものです。実際の登山では、体力度、難易度以外に悪天候、残雪、体調、その他偶発的な要因による様々なリスクがあります。それらに配慮した計画を立て入山されるようお願いします。
2 地震や崩落、雪崩などにより、登山道の通行規制や付け替えの可能性があります。
3 一つの山に、登山口が同一のルートが複数ある場合がありますので、必ず事前にルートを確認してから入山されるようお願いします。
4 いずれのランクにおいても、初めてそのランクを経験する場合には必ず経験者を同伴してください。
5 この表に記載した山岳・ルートは、「新潟100名山」に掲載されているルートを選定したもので、必ずしも登山を推奨する山岳・ルートではありません。公的機関等により整備・維持管理されていない場合があります。またルートの通行や山頂への到達を保証するものではありません。
6 入山の際は、必ず登山計画書を提出ください。
<登山計画書の提出先>

新潟県警察本部地域部地域課
〒950-8553 新潟市中央区新光町4番地1
電話 025-285-0110
Fax 025-284-5301
登山する最寄りの警察署
登山口に設置された登山届提出箱
登山計画書の様式及びメールでの提出はこちら
http://www.police.pref.niigata.jp/osirase/sangaku/index.html

本表に関する問い合わせ先
〇グレーディング表全体に関すること
新潟県県民生活・環境部 県民スポーツ課
TEL 025-280-5091
〇個別の登山ルートに関すること
一覧表問い合わせ先に掲載の各市町村

Main table with columns: Route Name, Difficulty, Start Point, Highest Point, End Point, Route Length, Ascent, Descent, etc.

ルートを定数×コースタイム(時間)×1.8+ルート全長(km)×0.3+累積登り標高差(km)×10.0+累積下り標高差(km)×0.6
ルートを定数×コースタイム(時間)×1.8+ルート全長(km)×0.3+累積登り標高差(km)×10.0+累積下り標高差(km)×0.6